

SGHアジア探究文系活動報告 11

12月15日(木)5限、アジア探究文系社会系統では、前回に引き続き関西学院大学から助言者の方をお招きし、最終発表に向けてさらに論点を深めていくためのワークショップを行いました。

助言者は以下のお二方です。

関西学院大学大学院文学研究科

博士課程後期課程 総合心理科学専攻 心理科学領域 心理学

大森 駿哉 さん

関西学院大学 国際学部4年 正規留学生

Gan Lai Jiun (ガン ライジュン) さん

今回は、本年最後のワークショップということもあり、中間発表で提示した内容に対してさらに助言をいただいたり考えを深めたりすることにより、生徒たちが引き続き修正を加え、最終発表会に向け弾みをつけようというものでした。とくにマレーシアを研究対象にしているあるグループでは、マレーシアからの留学生 Gan Lai Jiun さんから対象地域の生活、文化や国民性についてたくさん貴重な話をいただいたり、また、生徒たちの独自の論理について活発に意見を求めたりして、現実と論理の整合性について一つ一つ熱心に確認していました。

最終発表までの期間が残りわずかとなってきましたが、順調に進んでいるグループもそうでないグループも最後までやり抜いてくれることを期待しています。

今回は1月12日(木)の5限にワークショップを行います。今回いただいた助言を活用して、次回までの期間に各グループの発表内容をどれだけ仕上げに近いものにしていくことができるかが課題となります。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらずご来校くださいました助言者のお二方にあらためて感謝申し上げます。

